

[4] セルビア

主要経済指標等 (2014年)

- 人口 713万人
- GNI 総額 415.05億ドル
- GNI 一人あたり 5,820ドル
- 経済成長率 -1.8%
- 失業率 (2013年) 22.2%
- 対外債務残高 (2013年) 363.97億ドル
- 援助受取総額 (支出純額) (2013年) 7.83億ドル
- DAC分類 高中所得国
- 世界銀行分類 iii / 高中所得国

出典) WDI (世界銀行) 等。詳細は解説参照

表-1 我が国の対セルビア援助形態別実績 (年度別)

(単位: 億円)

| 年 度 | 円借款 | 無償資金協力 | 技術協力 |
|------------|---------------|---------------|---------------------|
| 2010 年度 | - | 7.24 | 3.95(3.83) |
| 2011 年度 | 282.52 | 0.88 | 3.84(3.37) |
| 2012 年度 | - | 1.06 | 3.37(2.86) |
| 2013 年度 | - | 7.94 | 2.57(2.07) |
| 2014 年度 | - | 2.00 | 1.61 |
| 累 計 | 282.52 | 224.18 | 43.14(39.13) |

※脚注参照

ミレニアム開発目標 (MDG s) 代表的な指標

| | 過去データ | 最新データ |
|--|-------------|-------------|
| ●目標 1 : 1日1.25ドル未満で生活する人々の割合 | 0.3%(2002) | 0.1%(2010) |
| ●目標 2 : 初等教育における純就学率 | 99.7%(2005) | 96.3%(2013) |
| ●目標 3 : 初等教育における男子生徒に対する女子生徒の比率 (男子を1とした時の女子の人数) | 0.99人(1999) | 1.00人(2013) |
| ●目標 4 : 5歳未満児の死亡数 (1,000人あたり) | 27.8人(1990) | 6.6人(2013) |
| ●目標 5 : 妊産婦の死亡数 (出生児10万人あたり) | 18人(1990) | 16人(2013) |
| ●目標 6 : 15~49歳のHIV感染率 (100人あたりの年間新規感染者数の推定値) | - | 0.00%(2013) |
| ●目標 7 : 改良飲料水源を継続して利用できる人口の割合 | 99.4%(1990) | 99.2%(2015) |

出典) Millennium Development Indicators (The Official United Nations Site for the MDG Indicators)

主要ドナーの対セルビア経済協力実績 (2013年)

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

| | | | | | | | | | |
|---------------|-------|--------------|-------|---------------|-------|------------------|-------|------------------|-------|
| 1位 ドイツ | 85.51 | 2位 米国 | 32.48 | 3位 スイス | 18.73 | 4位 スウェーデン | 15.99 | 5位 オーストリア | 11.61 |
|---------------|-------|--------------|-------|---------------|-------|------------------|-------|------------------|-------|

出典) OECD/DAC

セルビアに対する我が国ODA概要

1. 概要

我が国は、1998年に当時のユーゴスラビア連邦共和国に対する草の根・人間の安全保障無償資金協力を開始した後、2001年の支援国会合以降、セルビア共和国への本格的な二国間援助を開始した。主に民間セクター開発、医療、教育、環境保全の分野での無償資金協力、技術協力、また環境保全の分野への円借款などの支援を行っており、これら支援は同国の安定と発展のために大きく寄与している。

2. 意義

セルビアは、2014年1月にEU加盟交渉を開始した。このため、財政改革や国営企業の民営化に取り組むと同時に、環境分野をはじめとする各分野において、EUが定める基準の達成に取り組んでいる。我が国が、このような同国の努力を支援していくことは、これまでの我が国の支援に対する同国国民の高い評価と親日感情等を背景とする我が国と同国との伝統的な友好関係を一層強化することに加え、同国のみならず、西バルカン地域の安定にとっても極めて重要である。

3. 基本方針

民間セクター開発や環境保全といった我が国の優れた技術や知見を活用できる分野を中心に、セルビアの持続可能な経済発展及び同国のEU加盟に向けた取組を支援する。

4. 重点分野

- (1) 民間セクター開発: 投資環境整備のため、中小企業振興や観光開発などの分野において、我が国の有する技術と知見を活用した支援を行う。
- (2) 環境保全: EU加盟に向けて、環境分野でEUが定める基準を達成するための更なる取組が必要なため、大気汚染対策や下水道整備等の分野における支援を行う。
- (3) 保健医療、教育: 都市部と地方部との間の経済社会サービスの格差是正に向けて、保健医療及び教育分野を中心に、女性、児童を含む社会的弱者が直接ひ益する支援を行う。

※注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 2010年~2013年度の技術協力においては、日本全体の技術協力の実績であり、2014年度の日本全体の実績については集計中であるため、JICA実績のみを示している。
()内はJICAが実施している技術協力の実績及び累計となっている。

セルビア

表-2 我が国の年度別・形態別実績詳細 (表-1 の詳細)

(単位：億円)

| 年 度 | 円借款 | 無償資金協力 | 技術協力 |
|-----------------|-----------|--|---|
| 2012年度 | なし | 1.06 億円 ・草の根文化無償(1件) (0.01) ・草の根・人間の安全保障無償(11件) (1.05) | |
| 2013年度 | なし | 7.94 億円 ・ノン・プロジェクト無償(2件)(7.00) ・草の根文化無償(1件) (0.04) ・草の根・人間の安全保障無償(10件) (0.90) | ・西バルカン地域における中小企業メンターサービス構築・普及促進プロジェクト (広域) [13.04~16.03] ・エネルギー消費セクターにおけるエネルギー管理制度拡大支援プロジェクト [14.03~16.03] |
| 2014年度 | なし | 2.00 億円 ・ノン・プロジェクト無償(1件)(1.00) ・草の根文化無償(1件) (0.07) ・草の根・人間の安全保障無償(12件) (0.94) | |
| 2014年度 までの累計 | 282.52 億円 | 224.18 億円 | 43.14 億円(39.13 億円) 研修員受入 708 人 専門家派遣 252 人 |

注) 1. 表-1 注釈同様

2. 技術協力においては、2012年度以降に開始され2014年4月の時点で継続中の技術協力プロジェクト案件のみを掲載している。案件の [] 内は、協力期間。

表-3 我が国の対セルビア援助形態別実績 (OECD/DAC 報告基準)

(支出純額ベース、単位：百万ドル)

| 暦年 | 有償資金協力 | 無償資金協力 | 技術協力 | 合計 |
|-------|--------|---------------|-------|--------|
| 2010年 | -0.88 | 1.18 (0.34) | 4.87 | 5.18 |
| 2011年 | -0.28 | 4.71 | 5.26 | 9.70 |
| 2012年 | 0.61 | 0.81 | 5.20 | 6.62 |
| 2013年 | 2.21 | 1.09 | 3.09 | 6.39 |
| 2014年 | 1.06 | 7.84 | 1.89 | 10.78 |
| 累計 | 12.37 | 190.75 (1.47) | 34.42 | 237.54 |

出典) OECD/DAC

- 注) 1. 国際機関を通じた贈与については、2006年より、拠出時に供与先の国が明確であるものについては各被援助国への援助として「無償資金協力」へ計上することとしている。また、OECD/DAC事務局の指摘に基づき、2011年には無償資金協力を計上する国際機関を通じた贈与の範囲を拡大した。()内は、国際機関を通じた贈与の実績(内数)。
2. 有償資金協力及び無償資金協力は、これまでに交換公文で決定した約束額のうち当該暦年中に実際に供与された金額(有償資金協力については、セルビア側の返済金額を差し引いた金額)。
3. 有償資金協力の累計は、為替レートの変動によりマイナスになることがある。
4. 技術協力は、JICAによるもののほか、関係省庁及び地方自治体による技術協力を含む。

表-4 主要ドナーの対セルビア経済協力実績

(支出総額ベース、単位：百万ドル)

| 暦年 | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 | うち日本 | 合計 |
|-------|------------|----------|--------------|--------------|--------------|-------|--------|
| 2009年 | ドイツ 128.36 | 米国 46.55 | スウェーデン 22.94 | ノルウェー 19.88 | 日本 13.98 | 13.98 | 305.50 |
| 2010年 | ドイツ 144.89 | 米国 57.92 | ノルウェー 20.24 | スウェーデン 17.59 | フランス 13.95 | 6.05 | 339.93 |
| 2011年 | ドイツ 100.66 | 米国 42.23 | スウェーデン 22.99 | イタリア 22.48 | ノルウェー 19.83 | 9.97 | 294.09 |
| 2012年 | ドイツ 83.81 | 米国 41.69 | スイス 20.50 | スウェーデン 18.84 | ノルウェー 15.42 | 6.90 | 234.27 |
| 2013年 | ドイツ 85.51 | 米国 32.48 | スイス 18.73 | スウェーデン 15.99 | オーストリア 11.61 | 6.61 | 206.99 |

出典) OECD/DAC

表-5 国際機関の対セルビア経済協力実績

(支出総額ベース、単位：百万ドル)

| 暦年 | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 | その他 | 合計 |
|-------|--------------------------|-----------|-------------|------------|------------|------|----------|
| 2009年 | EU Institutions 292.94 | IDA 23.10 | GFATM 5.50 | UNHCR 4.98 | GEF 2.20 | 2.55 | 331.27 |
| 2010年 | EU Institutions 290.13 | IDA 24.67 | OSCE 9.14 | GFATM 5.68 | IAEA 1.85 | 4.41 | 335.88 |
| 2011年 | EU Institutions 1,064.78 | IDA 24.08 | UNHCR 12.73 | OSCE 9.37 | GFATM 5.20 | 4.34 | 1,120.50 |
| 2012年 | EU Institutions 930.68 | IDA 20.40 | OSCE 8.19 | UNHCR 5.37 | GFATM 4.26 | 4.11 | 973.01 |
| 2013年 | EU Institutions 721.03 | IDA 8.58 | OSCE 7.96 | UNHCR 6.87 | GFATM 5.28 | 3.94 | 753.66 |

出典) OECD/DAC

注) 順位は主要な国際機関についてのものを示している。

表-6 2014年度草の根・人間の安全保障無償資金協力案件

| 案 件 名 |
|---------------------------------|
| ウブ市ウブ幼稚園暖房システム改善計画 |
| オブレノバツツ区ペルカ・ピチェンティエビツツ幼稚園車両整備計画 |
| オブレノバツツ診療所衛生・医療機材整備計画 |
| オブレノバツツ老人ホーム機材整備及び施設修復計画 |
| クルパニュー市老人ホーム機材整備及び施設修復計画 |
| ウブ診療所X線撮影機材整備計画 |
| クルパニュー市ボリボイエ・ミロイエビツツ小学校校舎修復計画 |
| クルパニュー診療所救急車及びX線撮影機材整備計画 |
| パラチン市ラドイエ・ドマノビツツ小学校暖房設備復旧計画 |
| ペトロバツツ・ナムラービ市ムラドスト高校体育館修復計画 |
| スビライナツツ市モラバ公社特殊自動車整備計画 |
| ミオニツァ診療所救急車及び医療機材整備計画 |

